

TOPICS

協議会と会員の皆様の活動などをご紹介いたします。

中井宏次
著書

笑って元気に！協議会では会員で、司会や講師としてお招きした中井宏次さんの著書の紹介です♪

笑ってますか！ 薬剤師が贈るこころの処方箋
「顔が笑う こころが笑う 脳が笑う」

NPO法人 健康笑い塾 主宰
(春陽堂書店) 日本笑い学会 理事 中井宏次 著

テーマは…
一笑百災を取り 百笑千福を招き 千笑万病を癒す
一読で、コミュニケーション力アップする
あなたも今日からユーモア人財です

5周年
記念公演

当協議会相談役 藤本義一先生原作「虫」
記念公演が行われました

当協議会相談役 藤本義一先生原作「虫」を当協議会理事の鈴木健之亮氏率いる劇団往来が上演。舞台は50年前の芸人横丁。当時の生活、そして芸に対する執念を描いた本作品には芸を披露する場を求めるながらも中々チャンスがない仲間同士の生活の中で、芸人としてのスタンスの違いから仲違いもあれば、また共に笑い、泣くこともあります。昔の芸人さんが芸に対して抱く哲学のようなものを感じました。当協議会が趣旨とする「上方演芸の伝統を継承する」という視点から、原点とも云える題材です。



鈴木健之亮理事と中井寿務理事が挨拶、司会は園田涼子さん。芸のためなら…。しかし人情もありの人間模様。

演芸豆知識

音響効果は、演芸には欠かせない。出ばやしや大きな寄席の一番太鼓や二番太鼓。鳴り始めると気持ちも高なり、舞台へと引き寄せられる。音の効果でいえば、机の見台、正面のついたてとなるひざ隠し、見台をたたく拍子木の3点セットも関西ではおなじみだが、実はこれらも上方特有のものだという。元々上方落語は江戸落語と違って屋外で披露するものであった。そのため、おはやしなどの音響効果は有力な集客手段であったという。

関西の上質な演芸文化のために…

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動と一緒にしませんか…

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。

あなたの入会で、まず一步、参加してもう一歩…

と、おひとりおひとりの思いと存在がこの協議会、そして演芸会を活性化します。

皆様のご入会はもとより、ご友人、お知り合いの方にもお声かけをいただけましたら幸いです。

公式ウェBSITEをご覗ください。 <http://www.walive.org>



POWER OF CULTURE

関西演芸推進協議会は
文化庁の関西文化振興事業に参画しています。

編集後記

2011年もあとわずか、この一年は、命の尊さや生きることの意味など、深く考えるときがありました。つい沈みがちになって、無力感に苛まれたり…。協議会の会合に出かけるのも少し気持ちが重くなったり、と。しかし、皆さんとお会いすることに、元気を貰って返るんですね~不思議です。今回も色々な行事をご紹介させていただきました。やはり、マンパワー！関西発はさらにキョレツ！？5周年を迎えるにあたり、更にパワーアップと行きたいものですね！一緒に笑い、共に楽しく、元気になること間違い無しですから～！！（編集部・廣田）



NPO法人関西演芸推進協議会 会報誌

笑ライフ 第13号

2011年12月

発行
NPO法人関西演芸推進協議会
編集部
<事務局>大阪市浪速区難波中1-10-4
千房株式会社内
TEL.06-6633-1430
FAX.06-6633-1435
<http://www.walive.org>
info@walive.org

CONTENTS

☆ピアパーティ開催 (司会・進行:立原啓裕さん・園田涼子さん)	1頁
☆寄稿文の書き方講座開催報告	2頁
☆3D落語会開催報告	3頁
☆演芸・関西ゆかりの人物伝(石井サト) 他	3頁
☆TOPICS	4頁
☆協議会入会のご案内 他	4頁

2011年7月20日水
ニューミュンヘン俱楽部
心斎橋店

立原啓裕さん
&園田涼子さんの
コミカルな進行で…♪

ピア・パーティ 今年も盛り上がりました！



去年の盛り上がりに負けず(?) 今夏も熱気に満ちた
ピア・パーティ!!



ゲストは演歌歌手の藤美詠子さん



乾杯のご発声は西上雅章様
(通天閣株式会社 代表取締役社長)

艶やかな歌と踊りで
会場は大盛り上がり！

立原啓裕さんのトークと歌の間に、とってもチャーミングな
演歌歌手の藤美詠子さんが歌をプレゼントしてくれました。

軽やかなダンスと歌で華やぎを添えて、また艶っぽい演歌も
聴かせてくれました。
リズムに乗って、一緒に踊る方もいて、程よい酔いも手伝って、
みなさんも「マイステージ！」

観賞だけでなく、自ら演じる協議会の会員さん。次も新しい
空気が期待できそうです!!



どんどん
飲んでや～!

Report

講習会

5周年特別記念誌「笑らいぶ」に向けて… 寄稿文の書き方講座を開講

今回の講演は、5周年記念誌の発行を前に、会員の皆様のページづくりを前提とした「文章の書き方講座」の開講でした。

講師には当協議会幹事の松井あゆ子さんと中野嘉子さんによるもので、文の組み立て方のコツや今回、みなさんに書いて頂くテーマについての解説やヒント、有名な格言や名言・台詞などの紹介と、実に文化レベルの高い講義でした。



講師は当協議会幹事の松井あゆ子さん（左）と中野嘉子さん

楽しく文章づくり（？）で コミュニケーションもUP！



雑誌等に頻繁に寄稿しておられる中井専務理事からも文章のコツを教わりました。

Report

「商店街の日」

新鮮＆斬新なエネルギーを… 今回はストリートダンスで華を添えました

大阪市商店会総連盟主催の「商店会の日」。去年に続けて今年もダンスマッチが演技を披露しました。若くフレッシュなメンバーのエネルギー溢れるダンスが初秋の心地よい空の下、難波宮のステージを華やかに彩ってくれました。年々、パフォーマンスが向上するダンスマッチ。これからますます見逃せないジャンルですね。



2011年10月10日(日)
於) 難波宮公園

2011年9月20日(火)
於) ハービスPLAZA
5階会議室
18:30～

Report

落語鑑賞会と現場探訪 ツアーツアー

推進会議で提案されて、楽しみにしていた「3D落語」が実現されました。まずは、笑福亭生喬さんによる「らくだ」を観賞。フルバージョンではなかなか聞くことができない貴重な体験。。。舞台は空堀から堀筋に抜け、千日前までと、大阪の人ならよく知った商人の町中。昔の情景が目に浮かぶような臨場感に溢れた瞬に引き込まれて行きました。



笑福亭生喬さんによる「らくだ」
を観賞。臨場感がって迫力も満点！



こんなに近くで、しかもフルバージョン。
協議会会員ならではの特典です。

落語「らくだ」の舞台を訪ねて… 昔の姿が思い浮ぶ大阪の町を探索

落語を観賞した後、実際に廻の中に出てきた地名を廻の順に従って訪ね歩きました。ナビゲーターは劇団往来の劇作家 小鉢誠治さん。無類の落語好きで、この企画に熱い思いが伝わる案内で、非常に楽しく落語と文化、歴史を学ぶ事ができました。

また、所々に残された昔の名残を残した大左衛門橋や町の片隅に立てられた案内板なども三次元での接触を体験でき、まさに3Dの落語観賞会！お見事！！

参加されたみなさんと約一時間を共に歩き、和気藹々と親睦も深かったのではないでしょうか？



演芸一関西ゆかりの人物伝 vol.1～木津勘助～

第一回目は大阪庶民の英雄、「木津勘助」

落語を始め、歌舞伎、文楽、講談、浪曲とあらゆる演芸、芸能にとりあげられ、数年前、当会会員浪花歌笑さんから浪曲「木津勘助」を拝聴させて頂いたのも記憶に新しい。

生まれは大阪ではない。大阪に出て木津村に住んでいたことから木津勘助と呼ばれた。土木技術士で豊臣秀吉や松平忠明等に重用され河川御用係として功を成したが、彼が英雄として慕われているのはもうひとつ理由がある。勘助56歳のときのこと。当時、近畿地方が冷害から大飢饉となり、幕府の備蓄米の放出を願いでてるも、聞き入れられなかった。義侠心の強い勘助は、庶民の飢えを見るに見かねず幕府の米蔵を無断で開け放つという「お蔵破り」を決行。大阪の庶民に米を配って彼らの命を助けたといわれる。罪を犯した勘助だが、当時の粋なはからいにより死罪をまぬがれ、現代までこうして語り継がれている。

地下鉄・御堂筋線「大国町」からも近い「敷津松之宮・大国主神社」。その境内に勘助の業績を顕彰して、銅像が建っている。かつてここは浪速区勘助町という町名であったらしいが、町名変更により、現在は浪速区敷津西である。（石井サト子・当協議会 事務局長）

2011年
10月2日(日)
於) 空堀～千日前